

<指宿図書館沿革>

明治 20 年 10 月	今和泉村烏山部落、宮田佐一郎積塵会を組織し、私設図書館的なものを設ける
大正 2 年 7 月	揖宿村、揖宿郡教育會通俗圖書館創立
大正 2 年～昭和 6 年	県の巡回文庫開始
大正 11 年 12 月 25 日	揖宿郡冬季大学に出張図書館を設置
大正 12 年 12 月 24 日	揖宿郡冬季大学に出張図書館を設置
大正 13 年 12 月 25 日	揖宿郡冬季大学に出張図書館を設置
大正 12 年 7 月 1 日	今和泉村立図書館設置
大正 12 年 7 月 1 日	揖宿村立図書館設置
昭和 6 年 4 月 1 日	揖宿村立図書館 蔵書数 630 冊、今和泉村立図書館 蔵書数 895 冊
昭和 8 年	指宿村立図書館は指宿町立図書館に改称
昭和 10 年 3 月 13 日	県主催県下図書館協議及びに講習会
昭和 20 年 5 月 5 日	指宿市内空襲により図書館消失
昭和 22 年 2 月	指宿地区農業改良普及所職員による「農民図書館」設立
昭和 23 年 8 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指宿町立図書館設置（農業改良普及所内） ・ 県立図書館の 100 冊と、田原迫所長の蔵書と農業改良パンフレットなどを加えた 200 冊弱で開館する
昭和 24 年 7 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指宿町立図書館、鹿児島県立図書館貸出文庫指宿出張所が設置 ・ 館長 田原迫 靖（揖宿地区農業改良事務所所長兼任） ・ 図書費 6 万円でスタート ・ 改良普及事務所では、夜間に農業講座や一般教養講座を開始。その後の貸出で図書館の棚はからっぽになることもあった
昭和 24 年	部落青年団読書会への配本（18 団体、984 人）
昭和 25 年 7 月 29 日	開館 1 周年記念事業開催、県立図書館貸出文庫は廃止され、創立 1 周年は市民への献本を呼び掛け、蔵書冊数の充実を目指した。
昭和 25 年 9 月	今和泉村公民館図書館図書部設置、村内巡回文庫開始
昭和 26 年	今和泉村公民館図書部が発足。巡回文庫の開始
昭和 29 年 4 月 1 日	<p>指宿市立図書館設立（今和泉公民館図書部併合）</p> <p>所在地 指宿市十町 241 番地（34.5 坪）</p> <p>館長 松元 平一</p> <p>蔵書数 1,624 冊</p> <p>購入冊数 204 冊</p> <p>献本冊数 128 冊</p> <p>（揖宿郡指宿町と今和泉村の合併により指宿市が発足、指宿町立図書館</p>

	と今和泉村公民館図書部を統合した。運用は今和泉図書館を指宿図書館としていた)
昭和 29 年 7 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・指宿市立図書館条例定める ・県立図書館指宿出張所設置 ・巡回文庫 400 冊を 4 ヶ月毎に交換
昭和 29 年 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館移動図書 1,000 冊、青少年文庫 50 冊借りる ・読書グループ数 115
昭和 29 年 9 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回図書館協議委員発令 ・第 1 回図書館協議会開催 (場所/柳田小学校)
昭和 30 年 4 月 1 日	自治体警察だった指宿町警察署道場 (十町 241 番地) に移転
昭和 30 年 5 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・指宿市立図書館協議会 ・購入冊数 120 冊 ・寄付金 市議会より 5,000 円、一般より 1,000 円
昭和 30 年 8 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館移動図書 1,000 冊、青年文庫 50 冊 これを機に読書グループの育成に着手
昭和 30 年 9 月 6 日	柳和母親読書会結成
昭和 30 年 10 月 3 日	柳和母親読書グループ発表会
昭和 30 年 10 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> 第 1 回読書グループ研修会開催 県立図書館長 久保田 彦穂 氏 他 参加
昭和 31 年 2 月 9 日	鹿児島県婦人会連絡協議会、県教委主催、南日本新聞後援の婦人グループ活動大会において柳和母親読書グループの活動状況を発表し、奨励賞を受賞
昭和 31 年 5 月 16 日	指宿において県図協総会開催、柳和母親読書会の事例発表
昭和 31 年 5 月 29 日	指宿市立図書館協議会
昭和 31 年 8 月 1 日 ～ 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・林間図書館開設 (今和泉隼人松原において) ・利用者数 2,048 人
昭和 31 年 9 月 5 日	NHK 鹿児島放送局「茶の間の時間」取材、柳和母親読書会の例会を取材し、当日の NHK テレビ放送で放送
昭和 31 年 10 月	柳和母親読書グループが図書館と協力して創刊文集「柳和」第 1 号発刊
昭和 31 年 10 月 12 日	臨時読書会 講師 久保田彦穂 読書グループの歌についての指導
昭和 31 年 10 月 27 日	日図協より、「読書運動の功績顕著なグループと認めて」読書週間実行委員会会長賞を受賞
昭和 32 年 4 月	童話会並びに童話同好会結成式、読書グループの研修会
昭和 32 年 5 月	指宿市立図書館協議会
昭和 32 年 7 月	レコードコンサート開催

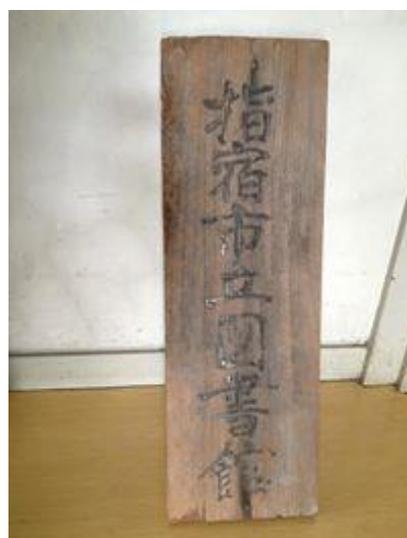
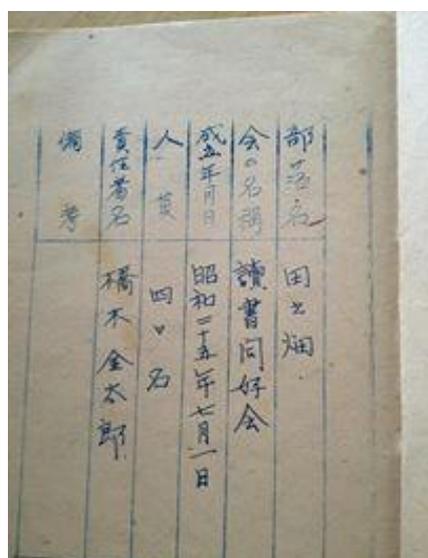
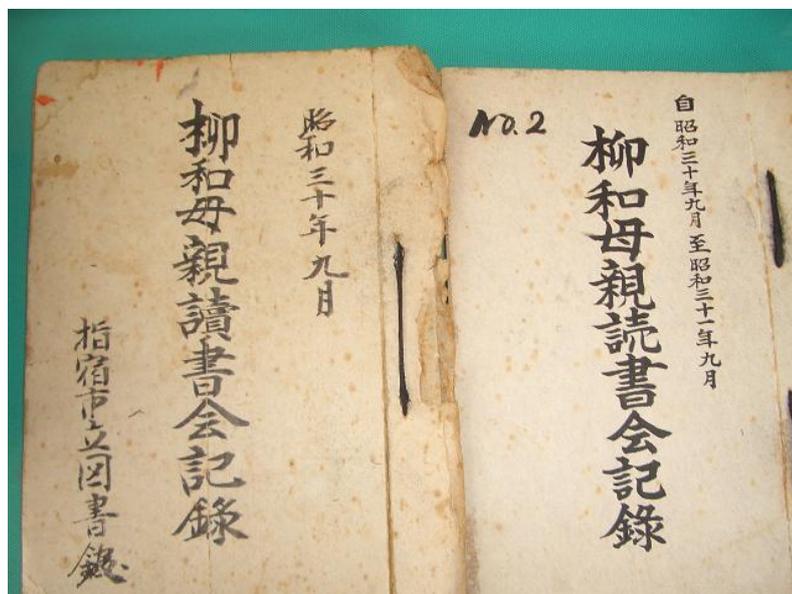
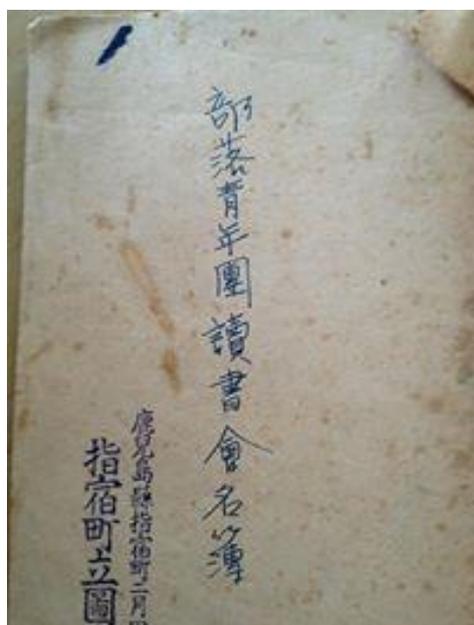
昭和 32 年 7 月 24 日 ～8 月 20 日	・林間図書館開設（今和泉隼人松原において） ・利用者数 3,807 人
昭和 32 年 9 月	指宿市立図書館協議会
昭和 32 年 10 月 12 日	揖宿史談会結成（会長：仁礼義彦、副会長：佐土原林造）
昭和 32 年 11 月	グループ調査、グループ数 174（会員 1002 人）蔵書冊数 約 6000 冊
昭和 32 年 12 月	文集「柳和」第 2 号発
昭和 33 年 2 月	指宿市立図書館協議会
昭和 33 年 7 月 24 日 ～8 月 20 日	・林間図書館開設（今和泉隼人松原） ・利用者数 3,906 人
昭和 33 年 10 月	文集「柳和」が「文集いぶすき」に改題し、指宿市全体の文芸作品集へと発展
昭和 34 年 1 月 30 日	指宿市立図書館設置条例、規約制定
昭和 34 年 2 月 6 日	指宿市立図書館協議会
昭和 34 年 4 月 15 日	事務室増築工事完了
昭和 34 年 6 月 13 日	県立図書館長 久保田彦穂氏 講演 演題「生活を綴ることについて」 場所：指宿市立図書館
昭和 34 年 8 月 4 日	県立図書館長 久保田彦穂氏 講演 演題「青少年の読書指導について」 場所：丹波小学校
昭和 35 年 5 月 13 日	指宿市立図書館協議会 ・図書館運営の基本方針 ・努力目標
昭和 35 年 6 月 30 日	児童文庫の交換（各小学校と交換）
昭和 35 年 7 月	文化講演会開催
昭和 35 年 7 月 15 日	県貸出文庫交換 800 冊
昭和 35 年 7 月 22 日	柳和母親読書会
昭和 35 年 10 月 4 日	読書グループ 5 周年記念式（表彰式）並びに講演会 県立図書館長 久保田彦穂氏 講演 演題「親子読書について」 場所：指宿市立図書館
昭和 35 年 10 月	指宿市立図書館協議会開催
昭和 35 年 10 月 15 日	配本所の本の交換 各 50 冊
昭和 35 年 11 月 22 日	・東京都日比谷図書館視察 ・読書グループ座談会 （日比谷図書館、鹿児島大学農学部、生活科学調査会、鹿児島県立図書館）
昭和 35 年 12 月 19 日	指宿市立図書館協議会
昭和 36 年 2 月	指宿市立図書館協議会
昭和 36 年 5 月 20 日	・法務局近くに移転、敷地面積 100.65 m ² 、木造平屋建て

	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の読書グループ、青年学級、子どもへの読書推進などをテーマとした。 ・蔵書冊数：9,400冊、県立図書館貸出文庫を合わせて10,100冊 ・郷土資料は約50冊。職員は5人（館長含む2人が兼任） ・今和泉支所に分館を設置。巡回文庫の配本先は27ヶ所
昭和37年10月	鹿児島県ブロック別研究会
昭和38年	利用者数 11,431人 貸出冊数 11,856冊 配本冊数 16,850冊 配本所の貸出冊数 17,606冊
昭和38年2月	鹿児島県教育委員会、県立図書館協会より優良図書館表彰
昭和40年9月3日	「心に火をたく献本運動」開始
昭和49年	旧指宿市役所別館に移転
昭和50年	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園への配本を開始 ・「夏季記名会」開催（昆虫・貝殻・植物）
昭和51年	指宿市視聴覚ライブラリー設置（山川町・開聞町・喜入町・穎娃町から委託）
昭和51年10月	「文集いぶすき投稿者の集い」（市教委と図書館主催） 集いの後、講演会開催 講師 島尾敏雄 演題 「指宿に移り住んで」 会場 指宿市役所3階講堂
昭和52年	<ul style="list-style-type: none"> ・指宿市親子読書連絡協議会発足、機関誌「ふうりん」創刊 ・親子読書グループは18団体、県図書館大会にて事例発表
昭和58年	蔵書数 34,855冊 貸出冊数 18,888冊（うち児童への貸出が14,201冊） 利用者数 7,769人
昭和58年11月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・新図書館建設工事の起工式 ・建築費2億3247万円（外構工事費2680万円）
昭和59年7月	移転作業は親子読書会の女性がサポートした <目標> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書の充実 ・利用者との連携強化 ・レファレンスサービスの充実 ・公民館図書室や配本所とのネットワークの確立
昭和59年	年4回の読書講座の開催（古典文学講座・絵本や紙芝居のよみきかせも開始）
昭和59年8月	十二町に新指宿図書館が開館

昭和 60 年	移動図書館車「つまべに号」を導入
昭和 63 年 3 月	59 回開催された古典文学講座が終了
平成元年 4 月～平成 8 年	市民講座「い・ぶ・す・きを学ぶ」開催
平成 15 年	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ講座を再編「ふれあいおはなし会」へ ・読書週間に「読書まつり」を開催 ・蔵書冊数 101,176 冊 貸出冊数 77,019 冊（うち移動図書館が 4,346 冊） 利用者数 23,752 人
平成 17 年 3 月	移動図書館車「つまべに号」廃止へ（20 年間運行）
平成 17 年 11 月	本と人をつなぐ「そらまめの会」が指宿市立図書館ボランティアとして活動開始。構成人員は学校司書や保育士、図書館ボランティアなど
平成 18 年 1 月 1 日	合併により指宿市立図書館から指宿図書館へ改名
平成 19 年 4 月 1 日～ 平成 22 年 3 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・指宿図書館、山川図書館の指定管理者制度導入を決定 全国からそらまめの会を含め 5 団体が応募し、地元、特定非営利活動法人本と人をつなぐ「そらまめの会」が運営（第 1 期） ・指宿図書館、山川図書館兼任館長：鈴 寛 ・開館時間の変更 平日 9:00～18:30 ⇒ 9:00～19:00 <li style="padding-left: 2em;">夏休みと冬休みは 20:00 まで ・開聞図書室は指定管理者に含まれず、直営で主に臨時職員一人に対応（配本や臨時職員が休みの時には、開聞庁舎の地域振興課がサポートした）（おはなし会は地元おはなしボランティアグループが開催） ・「よるのおはなし会」開催（平成 31 年度で休止）
平成 20 年 5 月～ 平成 23 年 3 月	指宿図書館、山川図書館兼任館長：下吹越 かおる
平成 21 年～	「読書まつり」から「図書館フェスティバル」に改名 会場を山川図書館に移す
平成 22 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 3 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・他の応募はなく、そのまま、特定非営利活動法人本と人をつなぐ「そらまめの会」が運営（第 2 期） ・冬休み 20 時開館を終了
平成 23 年、24 年、25 年	<p>平成 23 年度指宿まるごと博物館構想推進事業（地域と協働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業）</p> <p>指宿の昔話紙芝居（9 作品）、DVD、ネット視聴</p> <p>https://www.city.ibusuki.lg.jp/marugoto/mukashibanashi/</p>
平成 23 年 9 月 1 日 ～平成 24 年 1 月	<p><電算化のため休館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の緊急雇用対策の一環で 10 人の臨時職員を雇用。図書館員と臨時職員 16

	<p>人で電算化作業を行う。この間に開聞図書館閉室に伴う蔵書移管作業も行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併後、山川図書館が県の横断検索を外部から検索できる仕組みを閉鎖していた課題も、指宿図書館とのオンライン化に伴い復活した（システム統合） ・両館の蔵書検索、予約、貸出延長が可能 ・市内の小、中学校、市立高校へ図書館の蔵書検索ができる端末を設置 ・甘藷資料収集家の湯之上忠氏より献本された甘藷資料の蔵書登録も進めた ・池田校区公民館、今和泉校区公民館に OPAC 設置 ・開聞図書室蔵書の移管作業 ・開聞図書室の本は、旧開聞町内の保育園、小・中学校へ移管。その後、山川図書館、指宿図書館へ移管
平成 24 年 3 月	開聞図書室 閉館
平成 26 年 9 月～ 平成 30 年まで	図書館ミステリーツアー（こわいおはなし会、館内おばけ屋敷）
平成 26 年 9 月 8 日	指宿市点訳サークル「点指の会」より、「私たち、図書館やっています！」の点訳本 3 巻 計 375 ページにまとめて寄贈
平成 27 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	他の応募はなく、特定非営利活動法人本と人をつなぐ「そらまめの会」が運営（第 3 期）
平成 27 年 8 月 1 日	指宿図書館 30 周年記念イベント開催
平成 27 年 9 月 15 日～ 10 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・特別企画展「戦後 70 年の記憶～指宿海軍航空基地～」開催 ・現地ワークショップ 「海軍航空基地戦跡ツアー」開催
平成 27 年 11 月 18 日	子どもの読書活動推進優良図書館表彰（鹿児島県教育委員会）
平成 28 年 4 月～ 令和 3 年 3 月（5 年間）	<ul style="list-style-type: none"> ・指宿市 シビックカフェ事業 ～地域の拠点づくり～ ・「鹿児島の方言を楽しむ会」「鹿児島弁の昔話紙芝居実演」など
平成 29 年 4 月 1 日～	ブックスタート開始
平成 29 年 4 月 22 日	指宿市立図書館運営 10 周年記念映像 YouTube 「本を紡ぐ物語」 https://www.youtube.com/watch?v=T7Rm0x2rosw
平成 30 年 4 月 23 日	子供の読書活動優秀実践図書館として、文部科学大臣表彰
平成 31 年 11 月	図書館フェスティバルを指定管理者から社会教育課主催へ
平成 31 年 2 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館システム更新 ・読書通帳サービス開始
令和 2 年 4 月 22 日～ 5 月 6 日	新型コロナウイルス感染拡大予防のため休館（国の緊急事態宣言）
令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 7 年 3 月 31 日 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・他の応募はなく、特定非営利活動法人本と人をつなぐ「そらまめの会」が運営。（第 4 期）15 年目 ・募集された指定管理料上限：3 億 808 万 2,000 円以内 ・開館時間の変更：平日 9：00～19：00 ⇒ 9：00～18：30

令和2年6月17日	手話による利用案内(指宿図書館公式HPにて公開) https://www.youtube.com/watch?v=As-At_GOL4U
令和2年8月16日～ 8月31日	市内病院において、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生に伴い 臨時休館
令和2年9月～ 令和3年2月26日	空調機改修工事に伴い約6ヶ月の休館 吹抜け側窓ガラスへの紫外線防止フィルム貼付、LED照明へ交換、換気可に
令和2年11月4日	第6回図書館レファレンス大賞受賞 審査委員会特別賞 (主催/レファレンス大賞実行委員会、後援/文部科学省・公益社団法人日本図書館協会、協賛/公益財団法人図書館振興財団)
令和3年2月27日	図書館再開
令和3年11月9日	令和3年第7回図書館レファレンス大賞 審査委員会特別賞



<山川図書館沿革>

大正13年8月	山川村立図書館設置
昭和27年1月20日	鹿児島県立図書館貸出文庫山川出張所（図書館）設置 （揖宿郡山川町教育委員会事務局）
昭和29年	山川町議事堂の下の一角で開設された。開館から間もなく山川町役場新庁舎建設のために立ち退くこととなり、山川町立山川小学校（現・指宿市立山川小学校）の音楽室へ移転
昭和32年	山川町議事堂の敷地に移転 蔵書冊数 2,383冊 （自館蔵書冊数：1,633冊、残りの750冊は県図書の貸出文庫）
昭和39年	蔵書冊数 3,640冊（県の貸出文庫1,100冊）
昭和45年	山川町社会教育課が旧山川小学校へ移転したのを機に図書館も移転
昭和52年	自家用自動車を使った移動図書館を開始
昭和53年	図書館の位置に山川町民会館を建設するにあたり、山川町立山川中学校（現・指宿市立山川中学校）の図書室へ移転
昭和54年	山川町民会館が開館。会館の2階に図書室が設けられたが専任職員として司書配置にはならず
昭和55年	婦人読書ボランティア活動が開始。 この活動には20人の女性が参加登録し、読み聞かせや紙芝居などの理論と実技を学習し、成果を町内の保育園や老人クラブなどで披露するというもので、同年の一坪図書館の設立へ導く原動力となった
昭和55年	一坪図書館開始（町内13ヶ所）
昭和56年	・蔵書冊数 7,517冊 ・貸出冊数 10,468冊（一坪図書館1館の貸出が6,000冊にのぼる）
昭和57年	図書購入費 43万円
昭和58年	PTAや公民館と連携し、朝読み・夕読み運動を開始した
昭和59年	図書購入費 140万円
昭和60年	蔵書冊数 約1万冊
昭和61年4月	親子読書巡回セミナー 参加者150人
昭和62年	保育園に園文庫設置
昭和63年	小学校3年生の教室に学級文庫開設
平成元年	・小学校2年生の教室に学級文庫開設 ・蔵書冊数 2万冊 ・開館時間を1時間延長し18時まで開館 ・貸出冊数が3冊から5冊へ変更

	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出期間も 15 日間に延長 ・課題として土日休館、カウンター職員が一人
平成 2 年	学級文庫の年度貸出冊数 約 15,000 冊
平成 4 年	新図書館基本構想策定に入る
平成 5 年	建設場所の決定と用地買収
平成 6 年	新図書館建設着工開始
平成 7 年 10 月 24 日	<p>山川町立図書館開館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南薩地域で初めてコンピュータを導入した貸し出し、蔵書管理システム導入を開始した。このシステムは鹿児島県立図書館にも接続し、町立図書館に所蔵のない図書の検索、相互貸借がスムーズにいくようになった。 ・小中校の中間地点に立地することから選定された ・図書館の目標は「町の文化・情報・交流の拠点」
平成 8 年	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで山川文化ホールで開催していた生涯学習講座「ふるさと山川町大学」を図書館で開催 ・貸出冊数 36,000 冊（町民一人あたり 3 冊）
平成 18 年 1 月 1 日	合併により山川町立図書館から山川図書館へ改名
平成 19 年 4 月 1 日～ 平成 22 年 3 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・指宿図書館、山川図書館の指定管理者制度導入を決定。全国からそらまめの会を含め 5 団体が応募し、地元、特定非営利活動法人本と人をつなぐ「そらまめの会」が運営（第 1 期） ・指宿図書館、山川図書館兼任館長：鈴 寛 ・開館時間の変更（平日 9:00～18:30 ⇒ 9:00～19:00, 夏休みと冬休みは 20:00 まで） ・開聞図書室は指定管理者に含まれず、直営で主に臨時職員一人に対応。配本や臨時職員が休みの時には、開聞庁社の社会教育課がサポートした
平成 20 年 5 月	指宿図書館、山川図書館兼任館長：下吹越 かおる
平成 21 年～	<ul style="list-style-type: none"> ・「読書まつり」から「図書館フェスティバル」に改名 ・会場を山川図書館に移す
平成 21 年	一坪図書館数 7 ヶ所
平成 22 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 3 月 31 日	他の応募はなく、そのまま、特定非営利活動法人本と人をつなぐ「そらまめの会」が運営（第 2 期）
平成 23 年 4 月 1 日	山川図書館 館長：久川 文乃
平成 23 年 9 月 1 日 ～平成 2 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・開聞図書室閉室に伴う蔵書移管作業 ・合併後、山川図書館が県の横断検索から外されていた課題も、指宿図書館とのオンライン化に伴い復活 ・開聞支所、川尻ふれあい交流館に OPAC の設置

	・市内の小・中学校、市立高校へ図書館の蔵書検索ができる端末を設置
平成 24 年 2 月 1 日	・指宿図書館の図書館システム導入によりオンライン化した。システム統合が行われたことで、両館の蔵書検索・予約・貸出延長が館内端末で可能になった。さらに指宿市開聞庁舎、川尻ふれあい交流館にも端末が設置され館内端末と同等の機能が利用可能となり、市内の全小中学校には市立図書館の蔵書検索できる端末が導入された ・電算化に合わせて閉館された開聞地域の読書環境を支援するため、学校へのおはなし会や配本業務が山川図書館に追加された
平成 24 年 3 月	開聞図書室 閉室
平成 26 年 6 月	図書館芋畑を作る。(JA と高校と公民館と図書館の連携)
平成 27 年 11 月	開館 20 周年記念イベント開催
平成 27 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	他の応募はなく、特定非営利活動法人本と人をつなぐ「そらまめの会」が運営(第 3 期)
平成 28 年 4 月～ 令和 3 年 3 月	指宿市 シビックカフェ事業 ～地域の拠点づくり～ 「指宿の読書会」など
平成 29 年 4 月 1 日	ブックスタート開始
平成 29 年 4 月 22 日	指宿市立図書館運営 10 周年記念映像 YouTube 「本を紡ぐ物語」 https://www.youtube.com/watch?v=T7Rm0x2rosw
平成 31 年 2 月 20 日	図書館システム更新、読書通帳サービス開始
平成 31 年 11 月	図書館フェスティバルを指定管理者から社会教育課主催へ
令和 2 年 4 月 1 日～ 令和 7 年 3 月 31 日 (予定)	他の応募はなく、特定非営利活動法人本と人をつなぐ「そらまめの会」が運営(第 4 期) 15 年目 募集された指定管理料: 3 億 808 万 2,000 円以内 開館時間の変更: 平日 9:00～19:00 ⇒ 9:00～18:30
令和 2 年 4 月 22 日～ 5 月 6 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館(国の緊急事態宣言)
令和 2 年 6 月 17 日	手話による利用案内(指宿図書館公式 HP にて公開)
令和 2 年 8 月 16 日～ 令和 2 年 8 月 31 日	市内病院において、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生に伴い臨時休館
令和 3 年 3 月	一坪図書館数 4 ヶ所(うち 2 ヶ所は自治公民館設置)のうち民間 2 ヶ所が令和 2 年度で閉館
令和 3 年 11 月 26 日	子どもの読書活動推進優良図書館表彰(鹿児島県教育委員会)